

別格本山 持明院

電話(〇七三六)五六―二三二二

お盆の御案内

拜啓 暑さ厳しき折益々御清栄のこととお慶び申し上げます。今年も亦お盆が近づいて参りました。 当院でも

来る八月七日より十五日迄恒例に依りお盆の施餓鬼法会を修行致します。貴家で施餓鬼法会御希望の御聖霊がありましたならば御記入御申込み下さい。平素よりお預かり申し上げております聖霊と共に孟蘭盆会の法要をおつとめ申し上げます。

先は暑中御見舞を兼ね孟蘭盆施餓鬼法会御案内申し上げます。

施餓鬼会 供養料

普通施餓鬼 法名一霊二付 二千元 本施餓鬼 法名一霊二付 参千元
特別施餓鬼 法名一霊二付 五千元 特別大施餓鬼 法名一霊二付 壹万円以上

お施餓鬼の因縁

今を去ること凡そ三千年前、仏在世の頃お弟子に目連尊者と謂ふ方がありました。あるとき神通力を以つて亡くなった母親は十界のうち何れへお生れになつて居るのであるうかと御覽遊ばすと、実にみるにさへ堪えられぬ悲惨な瘦せ衰へた身體となつて、食べるものは悉く火と化して口を焼きただらす餓鬼道に苦しみ悲しみ叫びもがいて居られましたので尊者の力では何うすることも出来ませぬので早速仏のもとへ走つてお出でになつて母の救はれるようにお願いなされました。その時仏は、七月十五日『旧暦』に出来るだけ多くのお家にお経をあげて貰いなさい。そして叮嚀に布施供養等をしなさい。そうすれば必ず救助するであろうと仰せられました。

孝心の深い尊者は仏の教えの通りに遊ばしたので、遂に母親は天上界に生まれ変わりました。かゝる因縁から毎年(旧暦)七月十五日に祖先のため孟蘭盆会の供養ができるようになりました。高野山では毎年八月七日(旧七月)から七日間は不断経と謂つて絶間なくお経を誦じ、亡者追福の秘法を修し孟蘭盆会の施餓鬼法会が最も大切にとり行はれているのであります。

施餓鬼供養申込書

記入しないで下さい

受付番号

(郵便振替)

(現金)

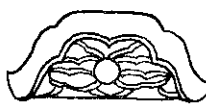




〒

住所

フリガナ
御姓名

Tel (- -)

法名、年月日、御供養料を御記入下さい。

				
名 法	名 法	名 法	名 法	名 法
俗名	俗名	俗名	俗名	俗名
年	年	年	年	年
月	月	月	月	月
日没	日没	日没	日没	日没
行年	行年	行年	行年	行年
才	才	才	才	才
霊	霊	霊	霊	霊
¥	¥	¥	¥	¥

◎お証文は八月十五日法要後、御送付申し上げます。
◎御送金は同封の振替用紙を御利用下さい。

切取線